

## 隠岐の島町立地適正化計画（素案）五箇地区説明会 記録

日 時：令和4年1月20日（木）19：00～20：40

会 場：隠岐の島町五箇 農村環境改善センター

出席者：五箇地区（別紙参加者名簿の通り）

都市計画推進室（石田室長、前田室長補佐、室山）

### 1. あいさつ

### 2. 隠岐の島町立地適正化計画（素案）の説明

### 3. 意見交換（○…質問・意見 →…回答）

○都市や人口が拡散することで社会インフラの維持ができなくなるため、コンパクト化していくということか。

→その通りである。

○今後、各地域にも都市機能や居住の誘導区域が指定されるのか。

→この計画の制度が都市計画区域の中で定めることになっている。各地域の拠点を今後どのように考えていくかは、その地区にあった地域振興と合わせて考えていく必要がある。

○誘導していくことで、区域外から人が減っていくことが想定されるが、それに伴って、その地域が荒れていく懸念がある。観光地までの道が荒れるのはよくないのではないか。

→観光地等や地域を結ぶ道路の維持は必要である。

○都市計画区域内を主体的に進めていくということか。他の地域へのウェイトについてはどのように考えているか。

→各地域の拠点が衰退しては、隠岐の島町全体の活力は生み出せない。そのため、都市計画区域内ばかりを主体的にやっていくというわけではなく、それぞれの拠点についても活性化の計画を考える必要性があると思っている。

○各地域の方は人口が減少傾向にある。まち全体の活性化にもつなげてほしい。

→隠岐の島の都市の核となる部分は、西郷港からセントラルのエリアであり、町の心肺機能である。この機能を今後も強化、維持することはそれぞれの地域の活力維持にもつながる。ただし交通ネットワークをしっかりと機能させる必要がある。

○人口減少を見据えて計画している点が気になる。根本として人口がこれ以上減らないような施策を考えるべきではないか。

→町の総合振興計画では、令和42年に1万人以上の人口の維持をするよう、各施策が計画、実行されている。

○この計画だけでなく、上記のような計画についても決定した段階で各地区での説明会があるといいと思う。

→今後の参考にするよう、各課に伝える。

○こどもが少ない。子育てがしやすいまちとしてほしい。

→隠岐の島町は島根県の中では出生率が高いが、高校を卒業すると島外に出てしまう。子育て支援についてご意見を関係課に伝える。

○この計画は、こういった事業を想定しているのか。

→災害リスクの低減に向けた施策を考えている。避難経路表示や防災訓練の実施など、必要性を周知するところから始める。将来的には、居住誘導区域内への居住を進めるために助成事業等を実施する可能性はあり得ると思う。

#### **4. 今後のスケジュール**

○パブリックコメントを募集する前に説明会をするべきだと思う。

→次回から気を付けたい。

#### **5. その他**